



平成28年度

地域リーダー育成プロジェクト



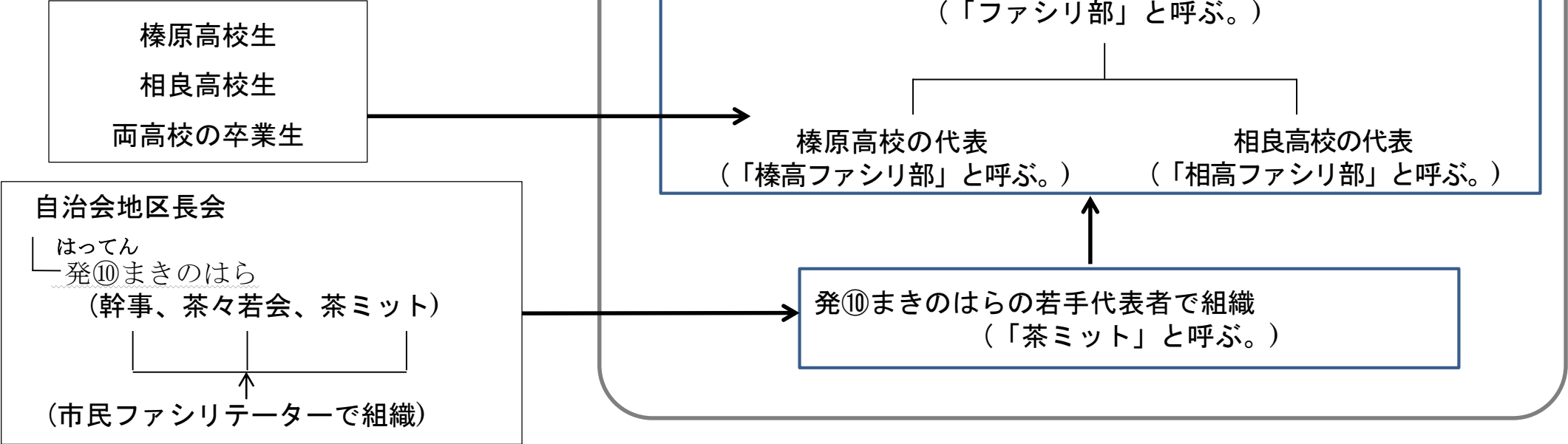
牧之原市 学び合いの場デザイン会議

＜目的＞

高校と地域が連携協働し、地域を理解して愛着を深め、より地域に誇りを持つ人材を育成するとともに、行政や大学(静岡県立大学、聖隷クリストファー大学)等地域とのつながりを密にし、将来、地域を担う人材や地域の課題解決に貢献する人材を育成する。

■ プロジェクトの主体：牧之原市

■ 協働体制



《地域課題の解決等に参加する取り組み》

- | | |
|---|---|
| ● 「学び合いの場」の開催 | 高校生ファシリテーターによる地域課題や地域の将来の姿などについて議論する場の開催 |
| ● 榛原、相良両高校生と大学生、(※)大人の参加
(※)大人⇒両高校生が希望等する職業人 | 大学生(静岡県立大・聖隷クリストファ大ほか)、多様な大人の「学び合いの場」への参加 |

《期待》

- | | |
|---------|---|
| ● 様々な実践 | キャリア教育の推進や地域貢献、地域への愛着、地域の活性化などにつながっていくことを期待 |
|---------|---|

地域に誇りを持ち、将来的に地域に帰ってくる子どもたちが増える

■ 学び合いの場(WS)等の関係スケジュール

	※1 検討会議	学び合いの場デザイン会議		学び合いの場
6月		6/30 第1回		
7月	7/21 第1回	7/11 第2回 7/15 第3回		7/18 第〇回 榛原高×可児高
8月		8/8 第4回 8/18 第5回	+ 榛原高校生代表	8/23 第1回 8/24 第2回 13:30～16:30 榛原文化センター3階
9月	9/29 第2回 15:00～17:00	9/2 第6回 9/7 第7回 9/19 第8回	16:00～18:00 14:00～16:00 10:30～11:30	9/5 第3回 立教・武蔵野大生の参加有り 16:45～18:45 「さざんか」ホール 9/12 第4回 16:45～18:45 榛原庁舎4階
10月		10/ 第 回	榛原高校生 + 相良高校生 代表ら + 卒業生	
11月		11/7 中間報告会・※2 地域課題懇談会 (仮称)		
		11/ 第 回		
12月			榛原高校生 + 相良高校生 代表ら + 卒業生	
1月	1/ 第3回	1/ 第 回		
1月		1/21、1/22 事業完了報告会		

■ ※1 検討会議の設置

地方自治法第174条に基づく専門委員(高校長・県高校教育課長・大学教授・市教育委員・市民ファシリテーターら)の設置。(この会議を「検討会議」と呼ぶ。)

■ ※2 地域課題懇談会(仮称)の開催

自治会地区長会や、地方創生に係る相互協力及び連携に関する協定を結ぶ静岡銀行と島田信用金庫ほか企業、各種団体の協力を得て開催される高校生の意見を聞く場。

運営委員の選出

- WSの運営に主体的に関わってくれる榛高生を10名選出。
- 当日のWSでファシリテーター役として運営した。



第0回：榛原高校×可児高校交流会

日 時 7月18日(月)
13:00~16:30

場 所 榛原庁舎4階会議室

参加生徒 可児：11人 榛原：32人

講師

西原茂樹（牧之原市長）

アドバイザー

水畑 順作氏(厚生労働省)

佐藤 淳氏(青森中央学院大学准教授)

浦崎 太郎氏(可児高校教諭)

＜主な内容＞

- ・ 情報提供 可児高校3年 田口裕斗
主権者教育プログラム実施報告
テーマ「選ぶ力をつけるために」
- ・ お茶の入れ方レクチャー
- ・ 講話 西原茂樹 牧之原市長
テーマ「未来に夢を持とう！
The Power Comes From Inside」
- ・ ワーク「みんなが住みたくなるまち」
グループ活動 ⇒ グループ発表
⇒ 投票 ⇒ 振返り

夏の！OPEN エンリッチプロジェクト 2016「自分が育つ」×「まちが育つ」 本気の大人とのコラボレーション。

自分の将来の
夢のためにやるし、
世間は体験できない
ようなことも体験できて
楽しいです！
2年生男子

普段経験
できないようなことを
たくさん経験させてもらって、
私は本当に幸せ者だ
って思っています！
3年生女子

面白い大人の
方々と出会い、楽しく
自分と地域のことを
考えられました！
3年生男子

学校では学べない
けど、これからの必要
な力や知識を
つけられました！
3年生女子

先パイ 高校生 体験談

様々な
大人の方とお話
して新しいことを
知れることがとても
楽しかったです。
3年生女子

大人の人と
交流するので、
自分の知らなかった世界
を知れました。
2年生男子

将来のビジョンが
経験前では
全く想像もつかなかったほどに
具体的なものに
なりました！
3年生男子

なかなか体験
できない大人との
かわり、
将来の想像力が
ついて自信になる！
2年生男子

〔主催団体〕縁塾

縁塾とは可茂地区の学校（小・中・高）と地域をつなぐコーディネート団体です。
昨年度より可児高校・市議会・市役所・地元企業・NPO・市民有志と連携して、
「地域課題解決型キャリア教育」通称：エンリッチプロジェクトを推進しています。生徒
一人ひとりの人生がより豊かになり私達が住む地域が元気になる事を目指しています。

トークジャンル <まちづくり> <キャリア> <多文化共生> <防災> <環境> <教育> <子ども> <医療・福祉>
<金融> <地方自治> <外国語> <ボランティア> <おもしろい人>

1 7/15 (金) ハートビートカフェ
自分の人生を自分らしく生きよう！
縁塾オールスターズ
みんなの未来は可茂の未来。
そして日本の未来！
自分らしく生きよう！縁塾オール
スターズと一緒に夢を叶えよう！
<まちづくり> <キャリア>

2 7/16 (土) 縁塾
防災まち歩き 2016 夏
可児市防災の会
災害から命を守るために
自分たちのまちを知ろう！
「まち歩き」をするこ
とで避難場所や道を再考
し、まちの防災力向上にも！
<防災>

3 7/16 (土) 縁塾
みたけコメト（米食人）～はやり～
縁塾職員 有志の会
空き民泊を運営して、お米
作り体験（即席炊飯）
地域の方、参加者の方と
これからの農業の課題など
について話し合います。
<まちづくり> <環境>

4 7/17 (日) フォーラム・アクト・アクト
それぞれの社会課題を解決するNGO・
NPOの作りワークショップ
40分×5回×10グループ
地域で感じる問題をアクト
アクトで解決しよう！
どう解決につなげるのかを
考えよう！NGOやNPOの
立ち上げを体験しよう！
<まちづくり>

6 7/17 (日) 岐阜大学サテライトキャンパス 大ホール

みんなでワイワイガヤガヤ学び合おう
～保健・医療・福祉について～

縁塾

医療専門職、医学生、
行政の方から話を聞くこと
ができるチャンス！医療系
の進路を考える方は是非
参加して下さい。



<<医療・福祉>>

10 7/19 (火) ファミリーカーショップ2F 会議室

可能性を無限に拓く生き方

(株) 富信 各務正敏

ネジや自動車に使われる
パーツを造り、モノづくりを
支える富信。その社長た
ちとのづくりの話や将来の
仕事について語ろう！



<<キャリア>>

7 7/18 (月) 静岡県牧之原市

主権者教育先進地 牧之原市視察
可児高校

行政や市民と一緒に
政策をつくりあげていく
先進地・牧之原市を
訪問します。



<<地方自治>>

11 7/19 (火) ハートビートカフェ

人生でやりたいこと100のリスト～やりたいこと
をみつけてみませんか？～

美濃加茂市職員
土屋友宏

あなたの夢を見つけるサポ
ートをします！私と一緒にあ
なたのやりたいこと、これからの
夢を見つけてみませんか？



<<キャリア>>

WSの様子・流れ

テーマ「みんなが住みたくなる楽しいまち」

- 会場は夏のオブジェやお菓子等置かれ、和やかな雰囲気が演出された。
- 9つのグループに分かれ、
 - ①各自でアイデアを付箋に書き出す
 - ②グループで共有し、模造紙に構造化
 - ③上位3つを別の用紙に書き、発表
 - ④用紙を掲示し、みんなで投票という流れであった。
- 最も多くの票を集めたのが、「市長がおもしろいこと」であった。
- WSの記録は2人のグラフィッカーが模造紙にイラスト付で記録していた。



第1回・2回WS

参加人数 第1回：79人
第2回：76人

参加者：

榛高生 相良高生 県大生
聖隷クリストファー大生
大人

テーマ

第1回

「自分と地域のことを知り、
共有しよう」

第2回

「今しかできないことを知ろう」



第3回WSの様子

参加人数 102人

参加者：

榛高生 相良高生 県大生 聖隷クリスト
ファー大生 立教大生 武蔵野大生
静大生 大人

テーマ「将来の地域のために
一人一人ができること」



第4回WSの様子

参加人数 41人

参加者：

榛高生 相良高生

講師、アドバイザー：

北川 正恭氏（早稲田大学名誉教授）

渋谷 浩史氏（静岡県教育委員会高校
教育課長）

佐藤 淳氏（青森中央学院大学准教授）

西尾 真治氏（三菱UFJリサーチ&コンサルティング
（株）主任研究員）

- 北川名誉教授による講話
演題「主権者教育と地域の未来」
- WSテーマ「地域リーダーになる
ための覚悟を決めるため
のワークショップ」

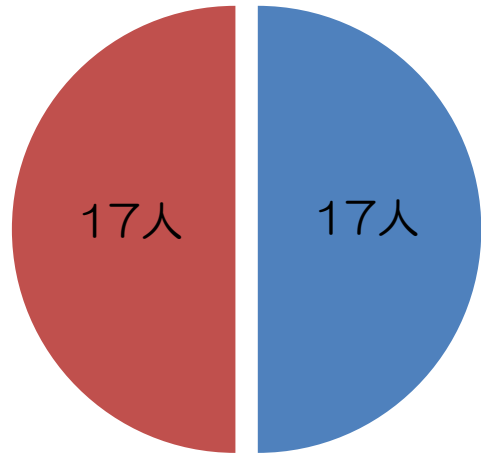


榛高生、相高生対象のアンケート結果 (静岡県立大学 実施)

第1回 学び合いの場（ワークショップ） 8月23日
テーマ「自分と地域のことを知り、共有しよう」

○テーマについて

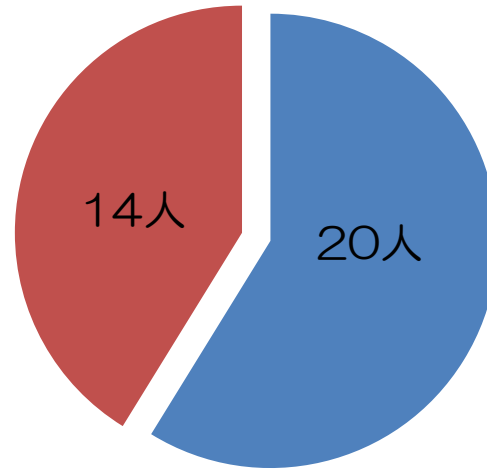
内容満足度
(榛高生26人、相高生8人)



■非常に満足 ■満足

○内容について

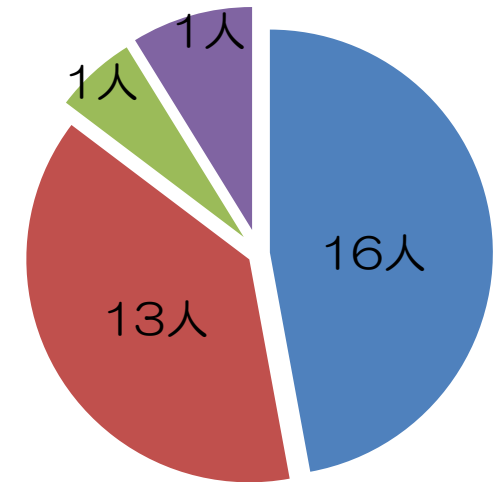
内容満足度
(榛高生26人、相高生8人)



■非常に満足 ■満足

○今後の取組について

内容満足度
(榛高生26人、相高生8人)



■是非参加したい ■どちらかといえば参加したい
■どちらともいえない ■無回答

○このワークショップで何を学びたいか。（自由記述）

- 多様な人の意見を聴き、自分のことに役立てたい。
- 自分の将来について参考にしたい。
- 地域（の活性化）について
- 牧之原市に何が足りないか。
- 進路（大学、学部等）について聞きたい。
- 他者との接し方、話せる力

○ワークショップの感想（自由記述）

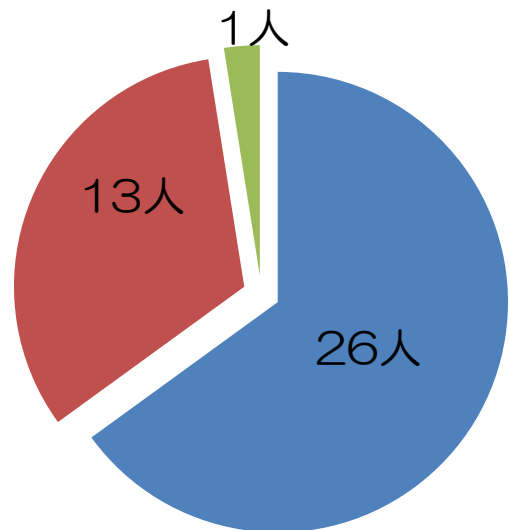
- 様々な世代の人の意見が聴けてよかった。楽しかった。
- 牧之原について（の良さを）いろいろと知ることができた。ここにいたいと思った。
- 自分に何ができるかを考え、この地域をより良いものにしたいと思った。
- 自分にはない意見を持つ人と話ができ楽しかった。
- 大学生との交流ができよかった。
- 地域について、自分のできることとつなげて考えることができてよかった。

第2回 学び合いの場（ワークショップ） 8月24日

テーマ「今しかできないことを知ろう」

○テーマについて

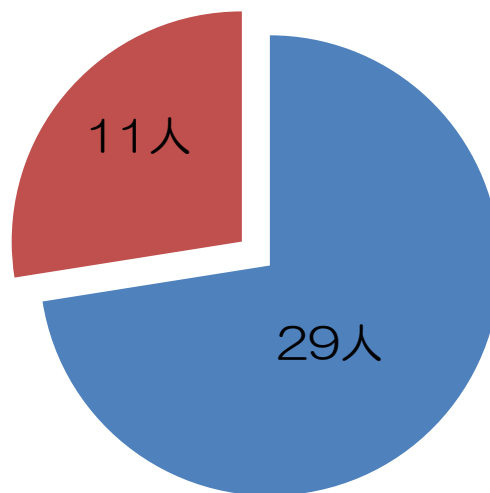
内容満足度
（榛高生33人、相高生7人）



■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない

○内容について

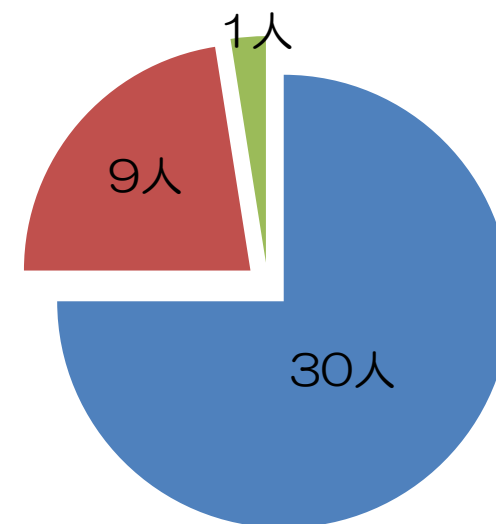
内容満足度
（榛高生33人、相高生7人）



■非常に満足 ■満足

○今後の取組について

内容満足度
（榛高生33人、相高生7人）



■是非参加したい ■どちらかといえば参加したい
■どちらかといえば参加したくない

○ワークショップの感想（自由記述）

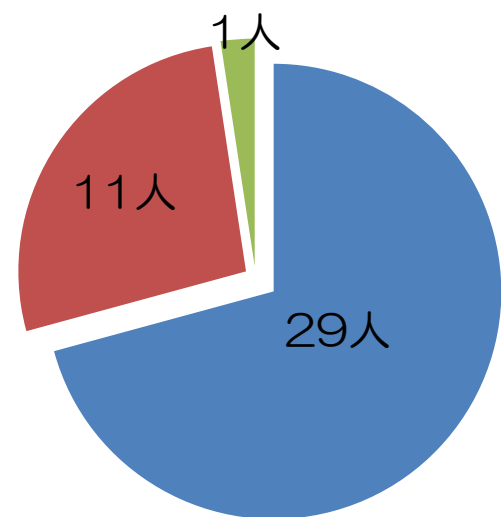
- いろいろな意見（考え）を聴けてよかった。視野が広がった。
- 高校生と大人、大学生の視点の違いがわかった。
- 大学のことや将来のことについてアドバイスがもらえた。
- 大人や大学生のコミュニケーション能力が高く、この能力が大切だと思った。
- 今しかできないことを考える機会になり良かった。
- 多様な方と交流し、期待していたことが実現できた。
- 自分の考えを話す（伝える）ことができた。
- やりたいことで悩むことが楽しかった。
- 今回の経験をもとに目標を立て、夢に向かってがんばりたい。
- こうした機会があれば、また参加したい。

第3回 学び合いの場（ワークショップ） 9月5日

テーマ「将来の地域のために一人一人ができること」

○テーマについて

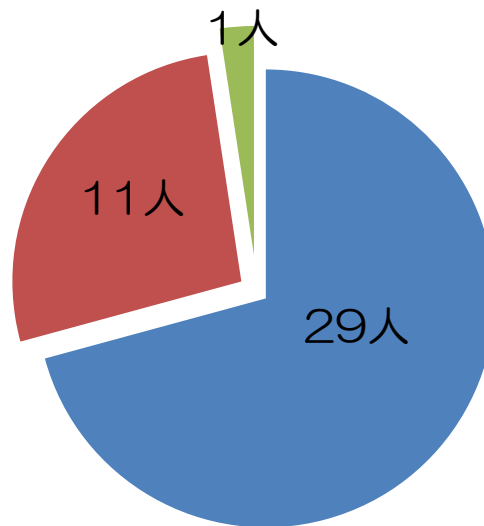
内容満足度
（榛高生34人、相高生7人）



■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない

○内容について

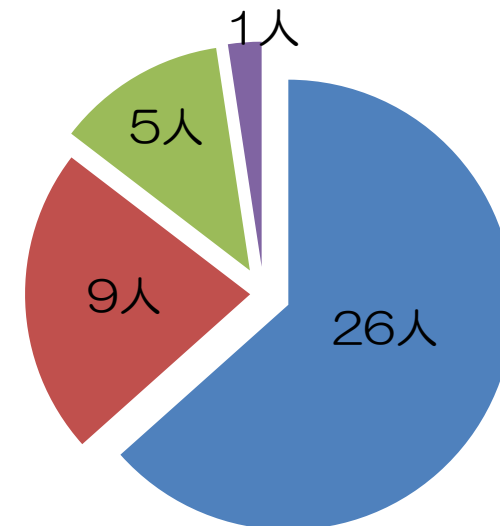
内容満足度
（榛高生34人、相高生7人）



■非常に満足 ■満足 ■どちらでもない

○今後の取組について

内容満足度
（榛高生34人、相高生7人）



■是非参加したい ■どちらかといえば参加したい
■どちらともいえない ■無回答

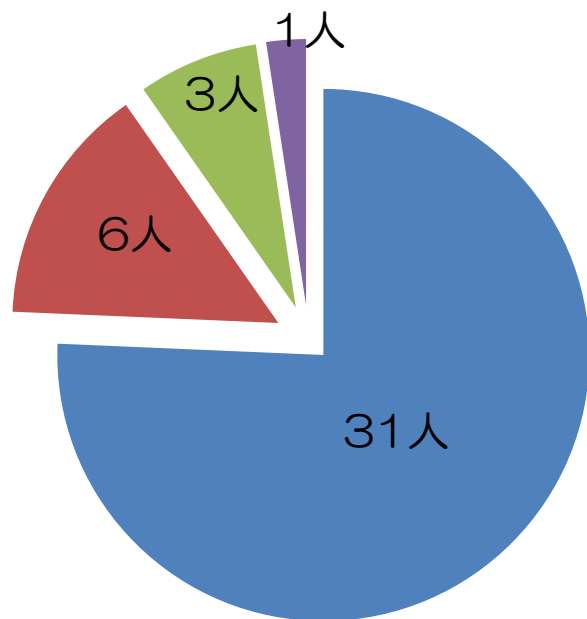
○ワークショップの感想（自由記述）

- 自分と地域のことをきちんと見直せてよかった。
- 地域のためにこれから何を自分がしたらよいか、私たちにできることを考えることができた。
- 地域のことをもっと知りたくなった。
- たくさんの世代の方と話すと、自分とは違ったいろいろな考えが出てくるので、とてもおもしろいと思った。
- 今までにない試みで、前2回とは異なる新鮮な話し合いができた。
- 自分で発表することが苦手だったけど、発表することに慣れたのでよかった。良い思い出になった。
- 人と人とのつながりの大切さを再認識することができた。
- 自分のことを見つめ直すことができ、これから行動するための選択に生かしたい。
- 具体的に考えていくと難しいこともあったけど、話がうまくまとまって達成感があった。

<第1回～第3回のワークショップについて>

○参加した回数

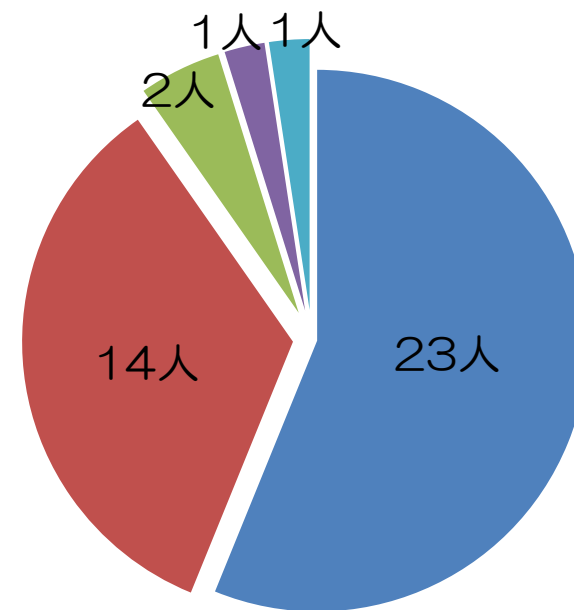
回答者数
(榛高生34人、相高生7人)



■ 3回 ■ 2回 ■ 1回 ■ 無回答

○全体の満足度

回答者数
(榛高生34人、相高生7人)



■ 非常に満足 ■ 満足 ■ どちらでもない ■ とても不満足 ■ 無回答

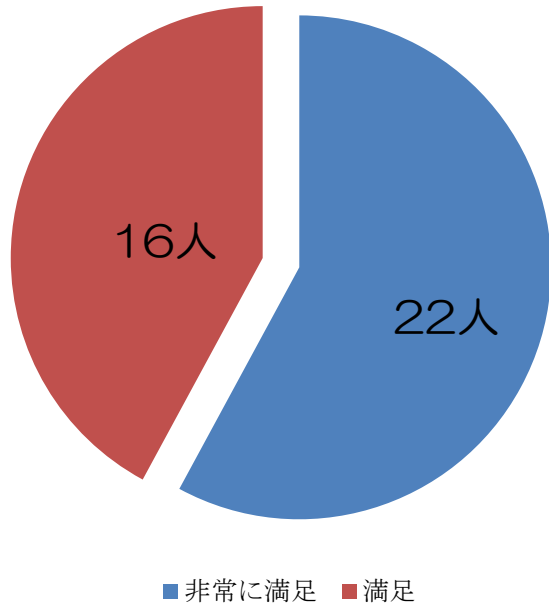
○参加したワークショップを通じて、 考えに変化があったことや影響を受けたこと（自由記述）

- 好きだった地域がもっと好きになれた。
- 地元に残っていこうと思った。
- 「地域」という言葉の考え方が変わった。
- 大人の人と話すことができて、貴重な体験ができた。
- 地域についての考え方がよい方に変わってよかった。
- 地域に戻って来て仕事ができるようにしたい。
- 考え方が豊かになった。来年もやるのであれば是非参加したい。
- 地元に戻って働く選択をしたいと思った。
- ワークショップの運営に興味があるので、それもやれたらよいと思う。
- 大学卒業してから地元に戻るつもりはなかったけど、何か地元に貢献したくなった。
- 「夢を叶えて地元に戻って来たい！」という気持ちが強くなった。

第4回 学び合いの場（ワークショップ） 9月12日
 北川正恭氏（早稲田大学名誉教授）の講話「主権者教育と地域の未来」
 WSテーマ「地域リーダーになるための覚悟を決めるためのワークショップ」

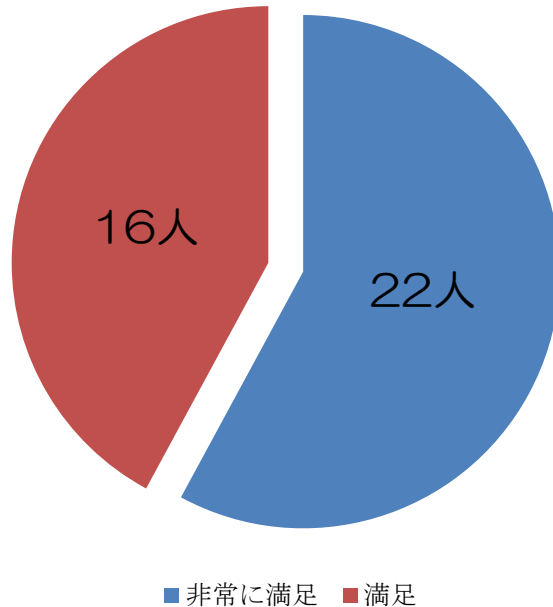
○テーマについて

内容満足度
 （榛高生20人、相高生18人）



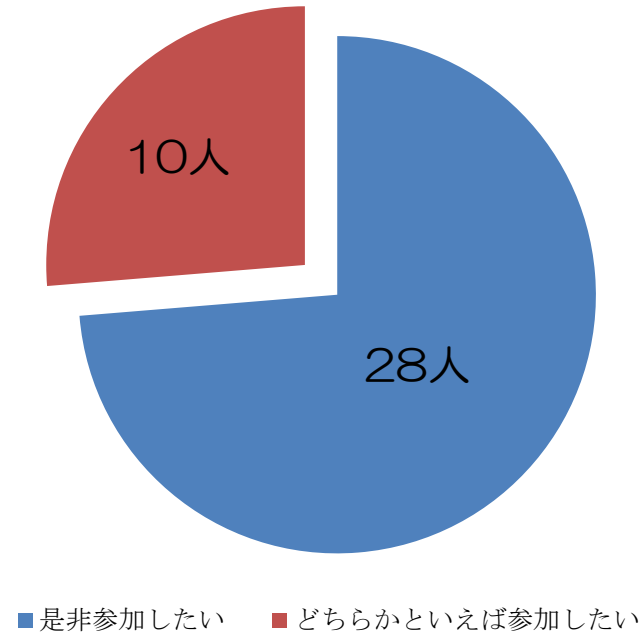
○内容について

内容満足度
 （榛高生20人、相高生18人）



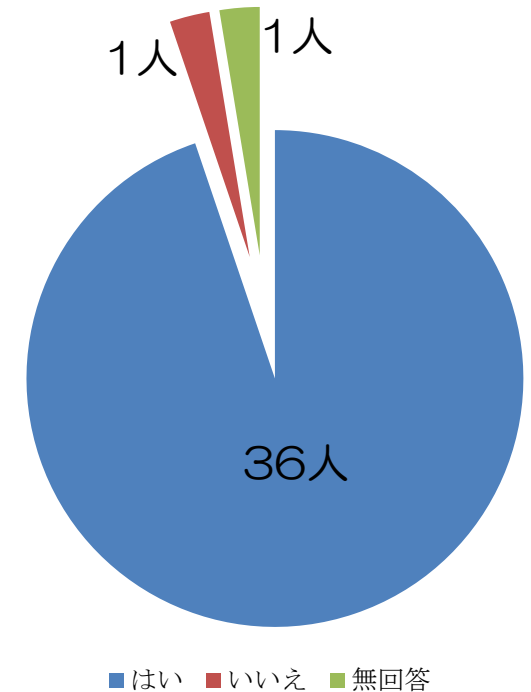
○今後の参加について

内容満足度
 （榛高生20人、相高生18人）



○学び合いの場に参加する前と後で、考える地域リーダー像は変わったか。

内容満足度
 （榛高生20人、相高生18人）



○今後、みんなで話し合いたいテーマ（自由記述）

- 将来のまちづくり、地域について
- 地域をつくるための組織には何が必要か。
- 地域に起きている問題の改善について
- 地域のことをよく知る。
- 話し合ったことをどう生かしていくか（具体化）
- 地域の活性化
- 地域の防災
- みんなが地域のためにできること
- 人々を動かすための必要な行動、考え

○地域リーダー像（学び合いの場を終えて）（自由記述）

- 人の話を聴き、意見を交わし、地域貢献に励む人
- 積極性があり、周りの人が一步を踏み出すきっかけになれる人
- みんながリーダーになれる。
- 地域のことが好きな人
- 引っ張る人に付いて行こうとする人
- カリスマ性
- 周りに支えてくれる人がいる。
- 個性や特技を活かせる人
- 地域をまとめる人

○生徒の意識の変化（自由記述）

- 好きだった地域がもっと好きになれた。地元に残っていこうと思った。
- 「地域」という言葉の考え方が変わった。大人の人と話すことができて、貴重な体験ができた。
- 地域についての考え方がよい方に変わってよかった。地域に戻って来て仕事ができるようにしたい。
- 考え方が豊かになったと思う。来年もやるのであれば是非参加したい。
- 地元に戻って働く選択をしたいと思った。
- ワークショップの運営に興味があるので、それもやれたらよいと思う。
- 大学卒業してから地元に戻るつもりはなかったけど、何か地元に貢献したくなった。
- 「夢を叶えて地元に戻って来たい！」という気持ちが強くなった。

○学び合いの場デザイン会議（9月19日）

榛高生運営メンバーによる今後に向けた意見

- 地域のためになること、地域に貢献していくための具体的なテーマで話したい。（行動に移して行けるようなテーマ）
- 相良高校生の考えていることをもっと知りたい。
- 定時制の生徒や同年代で働いている人の考えを知りたい。
- プレゼン能力を高めるための企画を実施したい。（講師を呼んでほしい）
- 小中学生や外国人（異文化）を取り入れていきたい。
- 地域と連携して事業に取り組んで行きたい。
- 地域のために行動したい。（ボランティアなど）
- お互いの刺激になるように、中学生にも参加してもらいたい。（地域への愛着心を持ってもらう）
- 清流館高校（特に福祉科）に参加してもらい、話をしたい。
- ファシリ部創設の提案を学校にした。高校生運営メンバーと連携して、生徒会後期の活動に取り入れていく。将来は、全校生徒を巻き込んで行きたい。



Manifesto
Awards



牧之原市
MAKINOHARA